

脱 水まわり

原始、水の近くに炉をつくり
屋根を掛けたものが「家」になりました
トイレは屋外、風呂は沐浴か行水

そんな暮らしのスタイルは
加圧水道が敷設されるまで
ほとんど変わることなく続いてきたのです

水道の蛇口が流しの上に来たときから
「家」における水の使われ方が激変しました
竈の火がガスに置き換わったことも
その変容を後押ししました

それからわずか50年余
「家」における、水にかかわるものは
「水まわり」

と総称されるようになっていきます
ルーツを忘れ
「緒くたになっちゃった」「水まわり」

もう一度

一つひとつの働き

意味を思い起こすことで
暮らしを豊かにするための
水の周りの新しいスタイルが
生み出せるかもしれません

水の文化 31号 2009年2月

特集「脱 水まわり」

LDKが変えた日本の住宅
家の中心は水まわり 藤森照信 4

日本人の住まい観と設計思想を変えた公団の働き
集合住宅の近代化 中田誠 10

女性建築家第一号 浜口ミホの描いたもの
ダイニングキッチンの誕生 北川圭子 16

水洗化がもたらした、見えざるイノベーション
現代のトイレ志向をつくった技術改革 前田裕子 20

みずだより 町家の暮らし 杉本節子 26

家は家族の記憶装置 藤原智美 28

守るものと生まれ変わるもの 編集部 34

暮らしのプランありき 山口昌伴 40

水の文化書誌 水まわり 盥と桶のモダニズム 古賀邦雄 46

文化をつくる 集約から分離へ 編集部 48

ミツカン水の文化交流フォーラム2008

インフォメーション

51

50

48

46

40

34

28

26

20

16

10

4